

2015年1月25日発行

2015年2月22日(日)は

第5回 市民活動応援☆きらきら基金助成事業です

桑名市総合福祉会館で、午後1時から5時までです

- ★「きらきら大賞」を発表します
- ★企業の社会貢献活動と市民活動のお互いを知る機会です
- ★地域の市民活動を応援するいろいろな方たちが集まります。
- ★桑名市長 伊藤徳宇さんがおいでになります。^^;

タイムスケジュールはこんなんです。

- ☆13:00-13:30 開会・寄附セレモニー(ご寄附の報告・顕彰)
カエル・こぶた & 小熊の寄付箱、直接寄附、葉書切手など
- ☆13:30-14:20 企業の社会貢献活動の発表と展示
域内の企業の社会貢献活動や経済団体の社会貢献活動の報告
- ☆14:20-15:00 助成先市民活動団体の成果の報告
- ☆15:00-16:30 地域円卓会議(話題提供と自由な意見交換)
テーマ「地域の外から、資源を市民活動に呼び込むには
—行政・企業・社協・NPOにできること」
最後に、桑名市長の総評をいただきます
- ☆16:30-17:00 きらきら大賞発表、受賞者記念講演

❁ 「きらきら大賞」を発表します。

短いですが記念講演をしていただきます。

2月22日に、桑名市総合福祉会館で行う「第5回の市民活動応援☆きらきら基金助成事業」では、なんと、副賞10万円の「きらきら大賞」の発表と、受賞者の方の記念講演を行います。

大賞といっても、この地域のさまざまな団体の、多くの皆さんが、それぞれにきらきらと輝き、すごい活躍をしておられます。この団体ももちろんすばらしい活動をしておられる団体のひとつです。そして「ここが一番」ということではありません。この受賞をきっかけに、その団体を少しでも多くの方たちに知ってもらい、より活動しやすくなるようにという願いから、「きらきら大賞」を受けていただくこととなりました。

どうぞ、受賞された団体を応援するというお気持ちで、ぜひ会場においでいただき、きらきら仲間のいっぱい拍手で、みたくつんであげてください。そして、その活動のお話を聞き、あちこちでその団体のお話を、いろいろな方たちに話してあげてください。そうすることで、その団体がますます元気に、この地域でがんばって活動してかれることと思います。皆さんしかできないそういう応援を、ぜひ、皆さんのお力で、どうかお願いいたします。



❁ 行政、社協、企業、市民活動団体の方たちが集まって、第5回の「地域円卓会議」を開催します。

「ボランティアをはじめとする、市民の自由な社会貢献活動」を応援しようという気持ちのある方たちにお集まりいただき、『地域の外から、資源を市民活動に呼び込むには—行政・企業・社協・NPOにできること』というテーマで、話しあいます。はじめに話題提供をし、それについて、立場に拘束されることなく自由に意見交換します。

「ボランティア、ボランティア団体、市民活動、市民活動団体、NPO」と、社会貢献活動を行う人たちを、いろいろな呼び方をしています。けれども、「行政、社協、企業、中間縁組織」などの応援するしくみが、それぞれ違う呼び方の対象だけを応援するのは、もったいないことです。「市民の自由な社会貢献活動」ととらえて、連絡をとりながら連携して、いろいろな応援を組み合わせることで、地域内の資源と応援とを、より多くより広く、このまちの市民活動に届けることができます。

また、この地域の外にもたくさんの情報を発信することで、地域の外からの「資源と応援」とを、このまちの市民活動に届けることも、大切なことだと思っています。そのためのしくみについて、お互いのイメージを広げたいと思います。そして、地域円卓会議の最後に、桑名市長の伊藤徳宇さんから総評をいただきます。

❁ 企業の社会貢献活動の展示と発表と、 市民活動団体の報告・アピールを行います



企業も、企業で働く方たちも、経済団体の皆さんも、大切なまちづくりの仲間です。このまちがよくなるように、その持っているさまざまな資源を活かして、ほんとうにすばらしい社会貢献活動をしておられます。市民活動団体もまた、いろいろな分野で、たくさんの方たちが、このまちのくらしを少しでもよくしようと、がんばっておられます。ありがとうございます。

まちをよくしようと活動しているそれぞれが、お互いのことを知ることで、尊重し合い、ときにつながらりながら、地域の課題解決に取り組むことも、あたりまえの時代になりました。同じ場所、同じ時間にそれぞれの活動を紹介し合い、できるとできないことなどを気楽に話せるような「つながり」ができてくるといいなあと思います。新しい出会いが、そこでできればいいなあと思っています。

◆◆◆ 市民活動応援☆きらきら基金は、これまでに 1,509,644 円のご寄附をいただき、3年間で、64 団体、11 事業に、1,457,400 円を助成できました。

応援のお気持ち、ほんとうにありがとうございました。
ご寄附の振込先は左記です。
一定の条件の下で、税制の優遇があります。

振込先

□座名 市民活動応援☆きらきら基金
□座番号 ゆうちょ銀行
00800-8-198866

◆◆◆ きらきら基金シーズン3の「きらきら☆らじお」は、
次回2月4日午後11時からの第79回放送が最終回です。

次期シーズン4の放送開始は、4月以降にはじまる予定です。
今回の最終回も、どうぞお聞きのがしなく。

きらきら☆らじお(インターネットラジオ) 生放送中!

毎月第一水曜日 11:00~12:30

毎回2組のゲストに市民活動の魅力・このまちの魅力について語っていただきます。

放送を聞くには? 投稿するには?

みえきた市民活動センターホームページ

検索



みえきた

ITラジオ みんな元気!!
こちら市民活動応援局です

*スマートフォンで、放送を聞くには、インターネットで「ユーストリーム無料アプリ」と検索して、アプリをダウンロードすれば、放送を聞くことができます。

ブログ みんな元気!!こちら市民活動応援局です <http://blog.canpan.info/miekita/>

Ustream <http://www.ustream.tv/channel/みんな元気-こちら市民活動応援局です>

こちらのアドレスからもお聴きいただけます <http://bit.ly/tKvSNl>

郷土史家 西羽晃氏の歴史寄稿

幕末・維新の桑名藩シリーズ 43

服部半蔵正義(まさよし)

服部半蔵正義の先祖は伊賀忍者集団の頭領として有名な服部半蔵石見守半蔵正成(まさなり)です。正成は徳川家康の信任を得ていました。彼の息子は石見守正就(まさなり)と半蔵正重(まさしげ)の2人です。正成の妻は桑名松平家の娘・松尾です。正重は不祥事件に連座して、徳川家から追放されました。そのため兄嫁の実家である桑名松平家に仕えることになり、代々半蔵を名乗り、松平家の家老を勤めました。12代目が服部半蔵正義(以下、正義と書きます)です。正義は弘化2(1845)年9月29日(一説に嘉永元=1848年9月29日)に生まれました。慶応元(1865)年に21歳(数え年)で家督を継いで、家老に就任しました。

当時の桑名藩主・松平定敬は京都所司代として、京都で活躍していましたから、正義も藩主を助けて京都で活躍しました。慶応3年の藩政改革で御軍事総宰となり、桑名藩軍の総指揮者となりました。

慶応4=明治元年正月、鳥羽伏見の戦いがあり、正義も参戦しましたが、負けましたので、大坂から江戸へ逃げて、越後柏崎に到着しました。柏崎は桑名藩の飛び領地でした。ここで桑名藩軍の再編成があり、正義は再び御軍事総宰となりました。正義は以後の戦中の記録を書き留めた「服部半蔵日記」として今に残されています。その中では新政府軍を「賊」とか「薩賊」と書いており、薩摩こそ賊軍だと主張しています。

柏崎から会津へと転戦を繰り返しますが、新政府軍の強力な軍事力に圧倒され、明治元年9月26日、出羽庄内(山形県鶴岡市)で降伏しました。庄内藩に身柄を拘束され、寒い冬を過ごしました。明治2(1869)年2月5日に庄内藩の護衛の下に、庄内を出発し、東京を経て東海道を上り、3月5日に七里の渡しを通り、無事に桑名へ帰りつきました。

思えば死を覚悟して、あちこちで戦い、やっと故郷に戻ったのでした。正義は感慨無量で、思わず涙を流しました。当時の桑名は名古屋藩と津藩との占領下にあり、帰宅は許されませんでした。十念寺に収容され謹慎させられました。

同年8月に桑名藩の再興が認められ、11月には戦争責任者として桑名藩士・森陳明(つらあき)が東京で処刑され、桑名藩の敗戦処理が完了しましたので、12月には正義以下の桑名藩士の謹慎も解かれて、自由の身になりました。

その後の正義は明治3年3月20日に桑名藩大参事に選ばれ、桑名藩が無くなってからは7年5月に三重県第九大区長(阿山郡)、同年8月に第三大区長(桑名郡)などを勤めました。10年に西南戦争が始まると、政府軍に入り、同年7月に第四大隊第三中隊長心得として参戦しています。戦争終結後は11年2月に第三大区長に復帰し、12年2月まで勤めています。13年7月には旧桑名藩士が広瀬野(鈴鹿市)を開拓するための資金5万円を政府から貸し付けられるように、桑名藩士のために尽力しています。そして明治19年に桑名で亡くなり、顕本寺に葬られました。今は子孫と顕本寺とは縁が切れて無縁墓となっています。

参考文献 「服部半蔵日記」(個人蔵)

「公文雑纂」「公文別録」「アジア歴史資料センター」(国立公文書館所蔵)

『三重県史(上)』(弘道閣 1918年)

『三重県史(資料編 近代Ⅰ 政治・行政Ⅰ)』(三重県 1988年)

西羽晃『郷土史を訪ねて』(自費出版 2001年)

